

公営企業会計

令和 7 年度

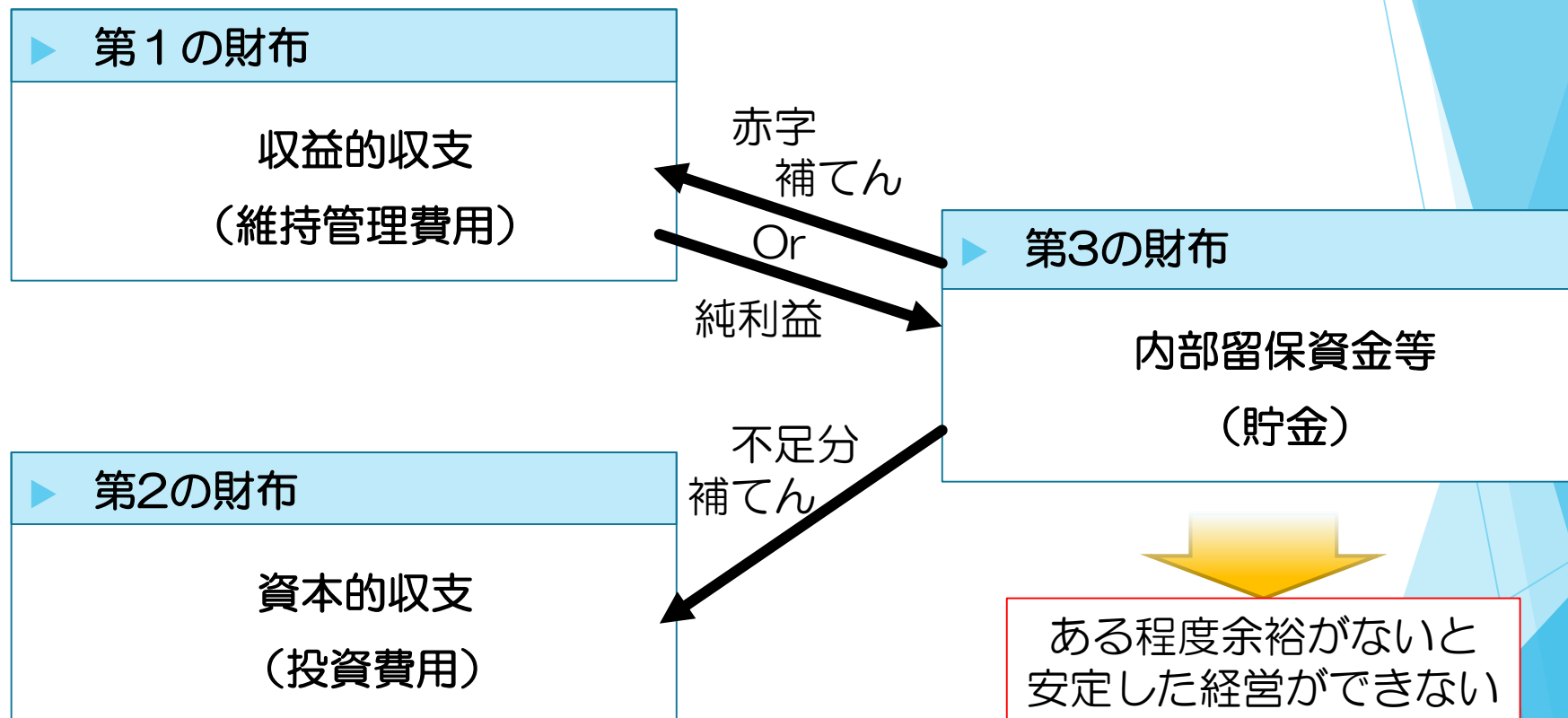
飯塚市水道事業会計予算

経済建設委員会資料

令和7年3月5日提出

公営企業会計予算の仕組み

※ 3つの財布について

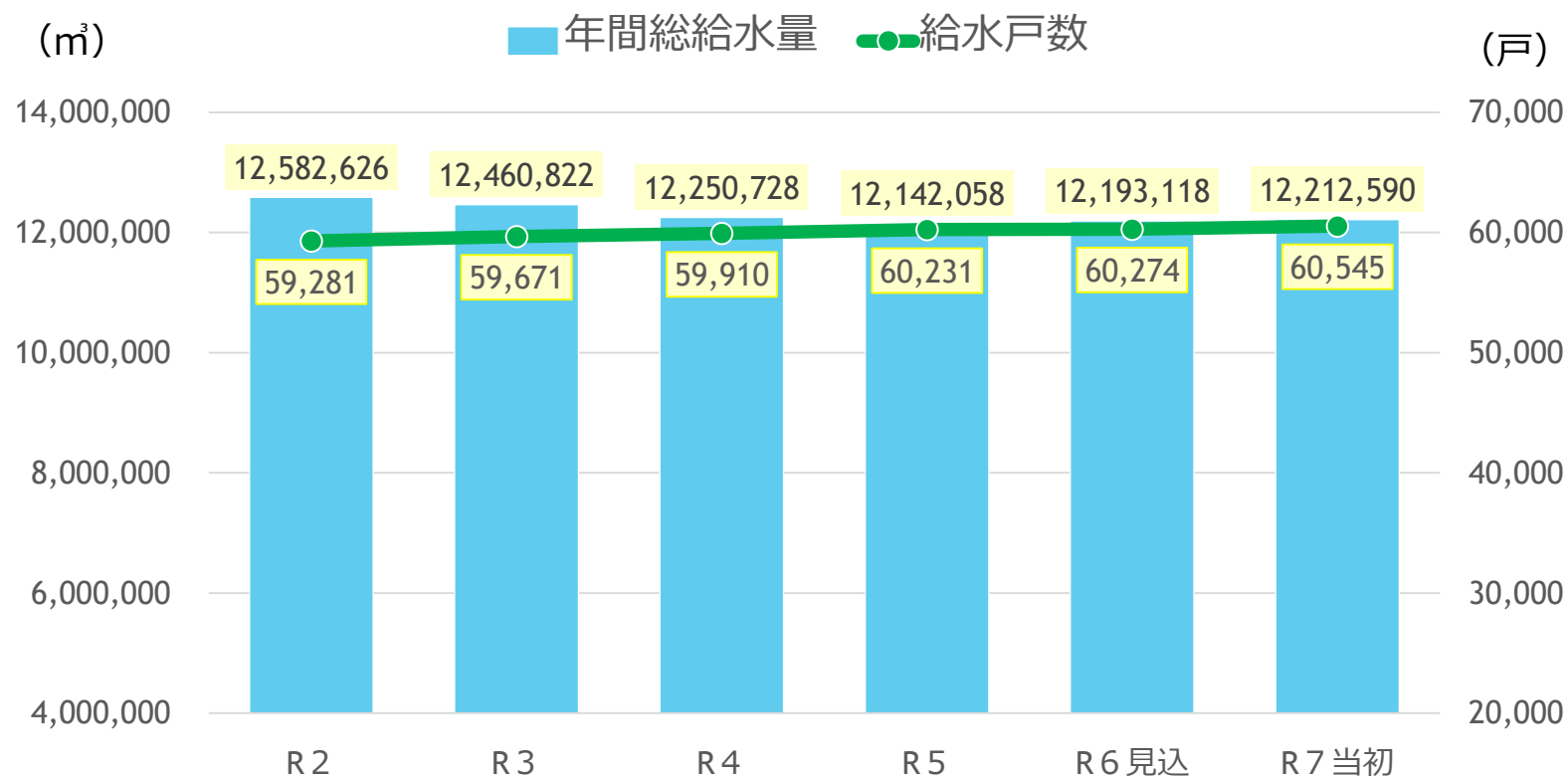


令和7年度当初予算の説明

1 水道事業会計

1-1 水道事業の推移

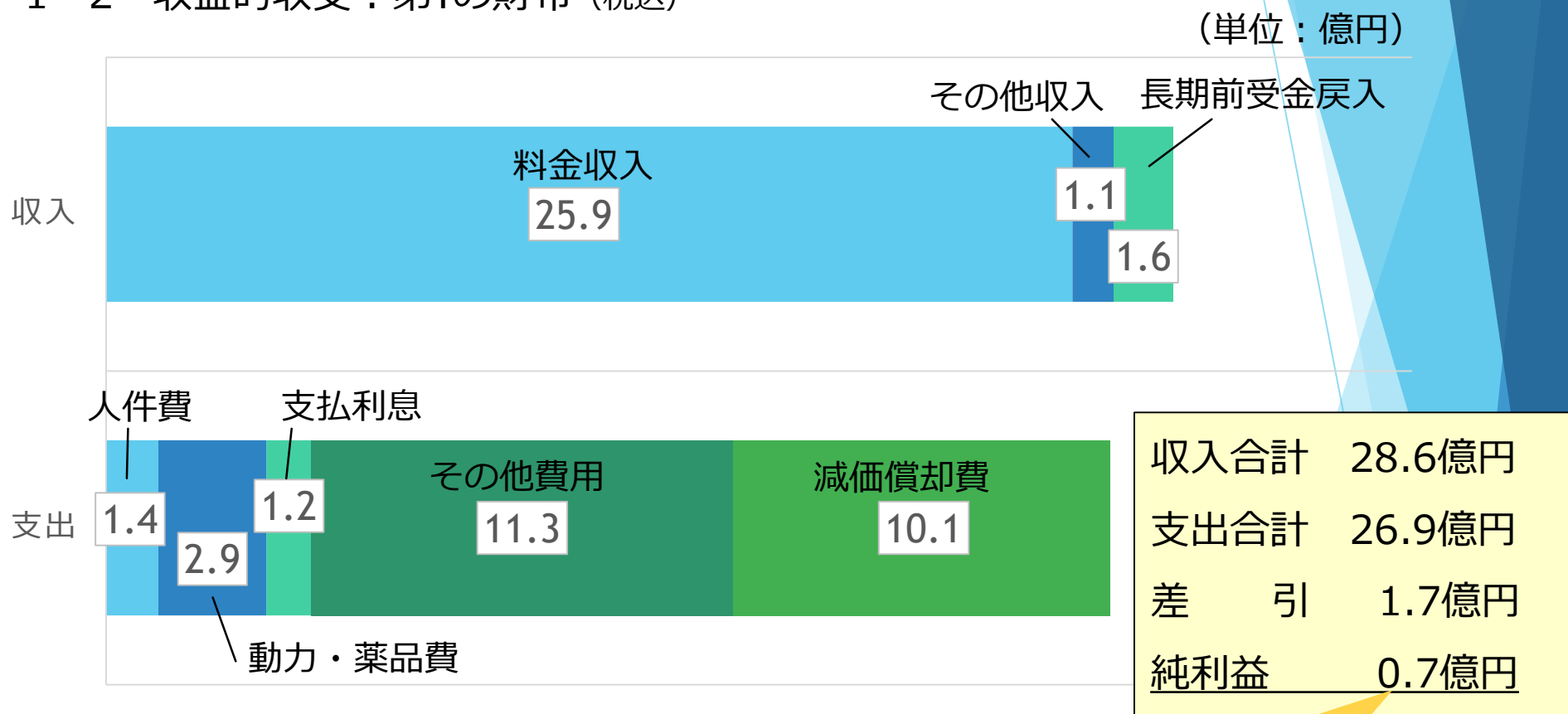
○年間総給水量、給水戸数の推移



令和7年度当初予算の説明

1 水道事業会計

1-2 収益的収支：第1の財布（税込）



内部留保資金等：第3の財布へ積立

※長期前受金戻入・・・補助金をもらって取得した固定資産の減価償却費のうち補助金相当分

令和7年度当初予算の説明

1 水道事業会計

1-3 収益的収支の対前年度比較

(単位：千円)

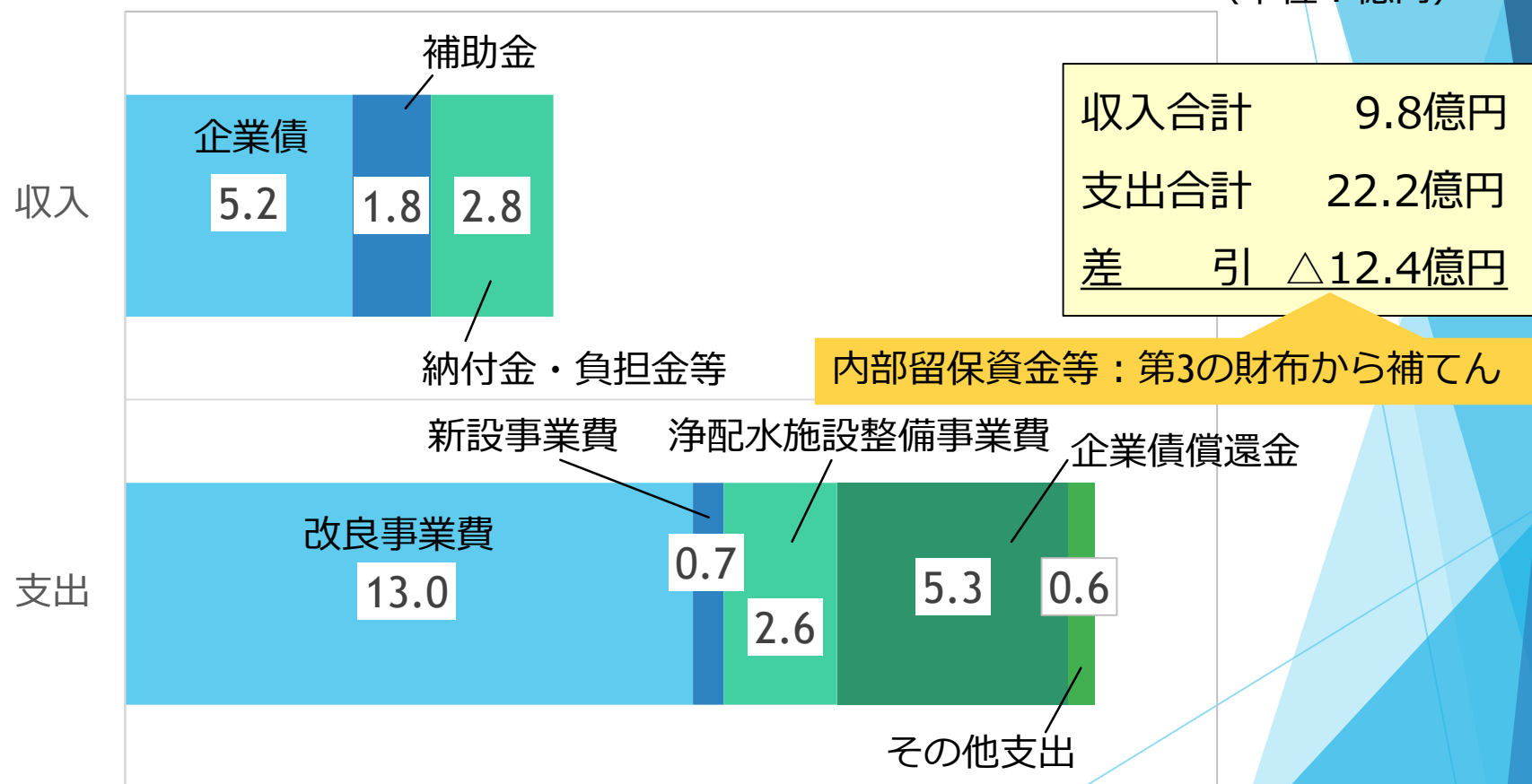
予算費目	R7予算	R6予算	増減	備考
収入合計	2,857,003	2,883,130	△26,127	
料金収入	2,589,655	2,574,192	15,463	
その他収入	103,596	142,464	△38,868	受託工事収益減
長期前受金戻入	163,752	166,474	△2,722	
支出合計	2,686,445	2,689,032	△2,587	
人件費	140,550	138,274	2,276	
動力・薬品費	290,575	228,852	61,723	薬品費の増
支払利息	115,431	123,331	△7,900	
その他費用	1,132,689	1,159,652	△26,963	委託料の減
減価償却費	1,007,200	1,038,923	△31,723	

令和7年度当初予算の説明

1 水道事業会計

1-4 資本的収支：第2の財布（税込）

（単位：億円）



令和7年度当初予算の説明

1 水道事業会計

1-5 資本的収支の対前年度比較

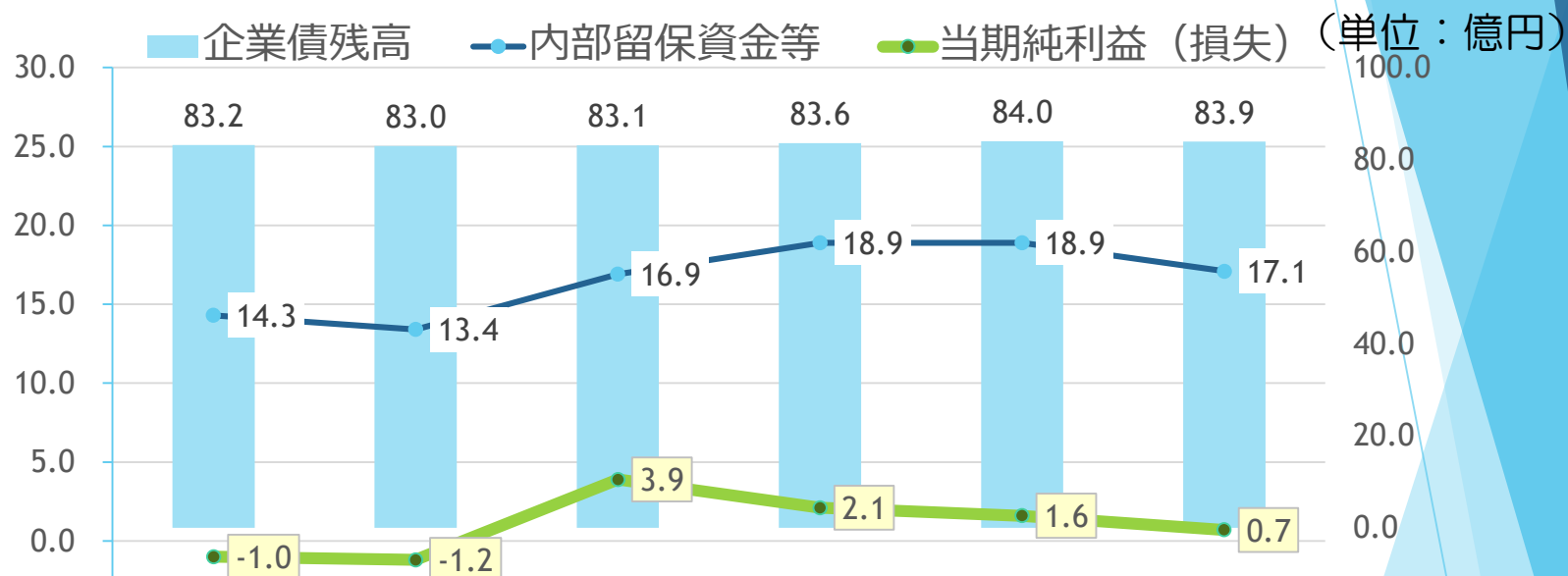
(単位：千円)

予算費目	R7予算	R6予算	増減	備考
収入合計	984,002	1,054,855	△70,853	
企業債	522,000	546,000	△24,000	
補助金	185,639	181,813	3,826	
納付金・負担金等	276,363	327,042	△50,679	
支出合計	2,223,977	2,241,076	△17,099	
改良事業費	1,304,682	1,269,183	35,499	改良工事費の増
新設事業費	68,013	34,002	34,011	営業用固定資産購入費の増
浄配水施設整備事業費	262,472	363,096	△100,624	浄配水施設整備工事費の減
企業債償還金	530,928	509,648	21,280	
その他支出	57,882	65,147	△7,265	

令和7年度当初予算の説明

1 水道事業会計

1-6 内部留保資金等、企業債残高及び当期純利益（損失）の推移



年度		R2	R3	R4	R5	R6見込	R7当初	〔参考〕経営戦略 R7計画値
内部留保 資金等	収益的収支	2.8	1.6	5.5	4.6	4.1	4.8	2.4
	資本的収支	11.5	11.8	11.4	14.3	14.8	12.3	14.9
企業債残高		83.2	83.0	83.1	83.6	84.0	83.9	84.3
当期純利益（損失）		△ 1.0	△ 1.2	3.9	2.1	1.6	0.7	2.4

令和7年度当初予算の説明

1 水道事業会計

1-7 令和7年度の主な事業

《収益的収支》

【安全・持続】

・水道施設運転管理及び料金収納等業務委託	6億129万円
----------------------	---------

【持続】

・給配水管緊急修繕委託	8,180万円
・漏水調査委託（先進技術）	1,195万円
・漏水調査委託（通常調査）	1,155万円

《資本的収支》

【強靱】

・阿恵地区送配水管布設替工事	9,188万円
・上三緒地区配水管布設替工事	6,774万円
・弁分地区配水管布設替工事	6,322万円
・片島地区配水管布設替工事	5,715万円
・伊岐須地区配水管布設替工事	5,283万円
・鯉田共同及び岩崎浄水場集中監視装置等改良工事 （R7～R9の継続費）	5億370万円
・津原導水管布設替工事	2億5,985万円

※【 】…水道事業ビジョンに掲げる水道の理想像
「安全」「強靱」「持続」

令和7年度当初予算の説明

1 水道事業会計

1-8 水道事業の新たな取り組み

先進技術『人工衛星を用いた漏水調査委託』について 【現状】

- ・市内全域の全配水管及び配水支管（約840km）を、3年かけて徒歩で調査（音聴）。
- ・漏水調査の発見率は、全修繕件数の20%程度。

【取り組み】

「人工衛星画像を用いてA I 解析」

- ・漏水の可能性があるエリアを絞り込み、漏水調査の効率化
- ・調査費のコスト削減
- ・発見困難箇所を効率的に発見し修繕することで、水道水の安定供給と有収率の向上に寄与

3年サイクルでの実施

- | | |
|------|----------------------|
| R7年度 | 人工衛星による漏水可能性エリアの絞り込み |
| R8年度 | 絞り込みエリアを従来の方法により調査 |
| R9年度 | 発見箇所の修繕 |

人工衛星からLバンドのマイクロ波を射出し、地中最大3mまで透過した画像を撮影。水道水が混ざった土壌特有の反射特性から水道水と非水道水を峻別し、半径100m円の範囲で漏水疑い箇所を抽出。

